

社会貢献活動

当社は社会の一員として、工場周辺地域や社会と共生し、ともに繁栄していくことが大切であると認識して、日々生産を続けています。

地域社会への協力 ～「トキめき新潟国体」の一翼を担って

新潟都市計画道路事業 3、4.513 太平大淵線（根拠法令 都市計画法 59 条）が 2003 年 1 月 17 日に告示され、この間近隣の用地買収が計画通り進まず、2005 年 2 月 7 日によりやく具体的な工程表、用地買収、迂回道路設置にともなう借地について、新潟県土地開発公社及び土木事務所から提示されました。用地の一部売却については慎重に検討を進め、野球グラウンドの一部を売却することとなりました。新潟県の公共事業に対し協力を惜しまないという会社の考えもあって、グラウンドの約 2/3 にあたる 7,183 m²を貸地、270.19 m²の売却契約を取り交わしました。

2005 年 5 月から工事が着工され、2009 年 4 月四車線供用開始に向け工事が着々と進められておりましたが、工事の進捗状況が悪く、計画の 4 月完成が大幅に延びることになりました。

2009 年 9 月に開催される「トキめき新潟国体」に向け、その路線にある市のテニスコートが国体の会場に予定されていることから、片側 1 車線を開通させるべく現在、工事が進められています。

一方、旧橋の撤去、迂回路の撤去で大形駅前の道路を通行禁止にできないため、改めて現在の迂回路を使用せざるを得ないことから、更に 2.5 年の借地依頼を政令都市になって新潟県から移管された新潟市の土木事務所から協力要請があり、これを受諾しました。

野球グラウンドの従業員の厚生施設として、また市民への貸し出しについて早期の利用再開の希望、問い合わせがありますが、行政の都市計画に積極的に協力していくという会社方針に対し、理解を求めながら対応しています。

半世紀ぶりの開催で県民こそって成功させたいと願う「トキめき国体」の一翼を新潟原動機が担っています。



写真：野球グラウンドの中を走る道路

新入社員に対する環境教育 新潟ガスタービン工場

新入社員への集合教育とは別に、工場内においての環境教育を行いました。

午前中に、ガスタービン工場についてリサイクルの現状、ゴミの分別方法、環境負荷について講義しました。感想文によれば、一様に環境問題に対する認識、特に分別による経済効果に驚いていました。

午後からは、実践として工場周囲の道路と敷地境界付近の清掃を行い、多数のゴミを分別しながら回収を体験しました。

